

平成26年度砺波市男女共同参画市民委員会 会議要録

1	会議の名称	砺波市男女共同参画市民委員会
2	会議の日時	平成27年1月28日(水) 午後2時～午後3時30分
3	会議の場所	砺波市役所 3階 小ホール
4	出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・委員 12名(三井会長、山本副会長、池田委員、岡部委員、加藤委員、小西委員、杉林委員、鈴木委員、田守委員、福田委員、伏木委員、藤澤委員) ・砺波市 4人(水落企画総務部長、畑こども課長、島田企画調整課長、端谷広報協働係長)
5	議題	砺波市の男女共同参画に関する取組状況について
6	公開の明示及びその理由	公開
7	審議の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 部長挨拶 3 委員の紹介 4 砺波市の男女共同参画に関する取組状況について <ol style="list-style-type: none"> (1) 砺波市男女共同参画推進計画(第2次)の概要について -資料1により説明-【事務局】 (2) 砺波市男女共同参画推進計画(第2次)の進捗状況について -資料2により説明-【事務局】 5 砺波市男女共同参画推進計画策定について -資料3, 資料4により説明-【事務局】 6 意見交換 <p style="margin-left: 20px;">【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性がいきいき働く職場という点について、短時間勤務や育児制度などのハード面は進んでいるが、女性の管理職登用は進んでいない。各企業はいろいろと制度を整えているようだが、女性従業員の責任あるやりがいのある仕事をして評価されるというようなソフト面でのサポートが遅れているように感じる。 <p style="margin-left: 20px;">【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVの原因の中で、最近話題になっている「モラハラ」いわゆる精神的暴力といったものの実態が分かれば、教えていただきたい。身体的暴力と精神的暴力の内訳が分かればお願いしたい。 <p style="margin-left: 20px;">【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVの件については、プライバシーということもあり、中身までは把握していない。平成25年度の無料相談は59件、そのうちDVに関しての相談は38件。平成26年度も年度途中だが28件ある。

【委員】

・砺波市での婚活相談の現状はどうか。世間の目が気になるのか、女性の相談者が少ないように感じる。

【事務局】

・婚活に関しては、平成25年度から月2回結婚相談を開催しており、9割が男性の相談者という現状。親御さんからの相談多い。女性では20代後半の方が2、3人。結婚に深刻な年齢になってくる30代女性の方でも、積極的に相談しやすい雰囲気づくりに努めたい。

【委員】

・知事が三世代同居支援という施策を行っていると言ったのだが、今回の計画の中にそういったものが見当たらない。計画に入っていないのか。

【事務局】

・三世代同居について、来年度砺波市でも三世代同居を推進する施策を実施予定。来年度、男女共同参画推進計画の策定期間でもあるので、今後の推進計画の中にも盛り込むことと考えていきたい。

【委員】

・父親の子供の教育についての参加ということに関して、都会ではPTA活動等は女性の参加が多いが、砺波市は父親も積極的にPTA活動等にも参加しているように思われる。

【委員】

・家庭でも最近「イクメン」がかっこいいという風潮があるので、家庭の中でも男女共同という環境ができているのではないかと。

【委員】

・子供たちにも、コミュニケーションセミナーを開催していただいたりして、男女仲良くという意識を小さいうちから与えていただくのは、ありがたいことだと思う。

【委員】

・婚活の実績は？自治振興会でも婚活を始めたが本気でやっているところは少ないように思われる。砺波市全体に周知されていない。農協は何組ゴールインしたという具体的数字があがってきているので、市の方ももう少し踏み込んでやっていただきたい。市、商工会議所、農協等、強力な連携が必要。

【事務局】

・縁結び相談は7月から月2回1人50分で、1日4枠設けているが、夏から秋にかけては全枠予約されたいたが、最近は少なくなってきた。

・7月から月1回程度仲人養成講座も開設している。

・民間では婚活のイベントを行っているが、市では行っていない。今年度は結婚に対する意識を高めてもらうセミナーを開催。来年度もセミナーを開催したいので、商工会議所、農協、民間等と連携して何か考えていきたい。

・活動を始めてまだ一年経っていないので、結婚された事例はないが、おつきあいをされているカップルはある。

【委員】

・商工会議所では「おせっかい」という会の婚活事業と飲食店の協力のもとでの婚活事業を行っているが、成果がなかなか出ない。それぞれでやっているより、市がリーダーシップを取って事業等を行っていただければと思う。

【事務局】

- ・それぞれの得意不得意分野もあるが、連携をはかりながら婚活事業を進めていきたい。
- ・となみ元氣道場という砺波市の活性化を目的とした会の方では、4、5組の方がゴールインしている。男女がめぐり合う機会を数回作ることで成果が表れると感じている。
- ・おせっかいの方と連携を図りながら、結果を発表できるよう努力したい。

【委員】

・砺波市の人口はなんとか現状維持を保っているが、商工会議所でも今後の交流人口、定住人口を増やすための項目を平成27年度の事業の中に訴えている。少子高齢化の中で定住人口を増やすためには、保育所の完備を早く進めていただくことも大事。その前に結婚していただかないと子供も増えないので、市のリーダーシップの元、会議所の方でできることは協力していきたい。

【委員】

・暮れのキラキラミッションは好評だったが、連携という点では、あのイベントの中で商工会さんがあったかいもののお店を出したり、農協さんが出会いの機会を作ったりして、三者融合した催しをして、婚活が良い方向に向かえばと思う。

【委員】

・男女共同参画推進員のアンケートによると、小学校の子供を持つ母親に「子育てで一番苦労したことは？」と聞いたところ、一番多かったのが「子供が急に熱を出したりしたときに休みを取りづらい」という答えだった。病気になったときに預かってもらえる病後児保育を充実させてほしいという意見があった。

【事務局】

・平成25年11月から砺波市でも病後児保育をはじめている。昨年度は少なかったが、本年度は12月末までに8名程度の利用があった。定員は1日4名で受け入れ体制は整っている。今後、幼稚園、保育所でのPRに努めていきたい。

【委員】

・結婚問題については、自治振興会の中とか隣近所の中だけでというのは難しい。市内だけの連携ではなく、近隣市町村との連携も大事なのではないかと。

【委員】

・三世同居の話があったが、家族間での支援が叶わない場合は、近隣の支援関係、見守り隊、見守り活動を強化して、お年寄りや体の不都合な方の支援をしていただきたい。

【委員】

・庄川地区の民生委員の方で社会福祉協議会の運転ボランティアをしている方が、「一人暮らしの車椅子の方の送迎を1日3回もして、大変だ。運転ボランティアだけでも少し男性がやってくれたら。」と言っておられた。資料のボランティア登録数は4,900人余となっているが、ほとんどが女性ではないかと思われる。団塊の世代の男女がたくさんいらっしゃるので、地域の見守りや介護のボランティアに参加していただけたらと思う。これから高齢者も増えるので、介護の面でも男女共同参画ということを考えていただけたらと思う。

【委員】

・「三世同居を進めていくことが、子供たちも元気になるし、お年寄りも元気になる。」と言われている。
・お子さんの病気の時の話と関連して、同居のいい例として、子供が保育園で熱が出て迎えにいかねばならなかったが、母親の職場が遠く、手が離せない仕事だったため、おばあちゃんが代わりに迎えに行って母親の仕事が終わるまで預かっていたという例があった。

【会長】

・「三世代」「婚活の連携」「子育てや介護の地域の見守り隊のサポーターに男女の区別はない」という三つが本日の会でのキーワードに思えた。

7 その他

【事務局】

・委員の任期については、来年度の計画策定に合わせて、4月1日からの任期として委嘱する方向で準備を進めている。今後、委員選出をお願いする。

8 閉会

【事務局】

・本日のご意見は、今後の行政の施策の参考とさせていただきたいと思う。
・今後も意見があれば、メール等いつでも事務局へ提出願いたい。

8 会議の主管課及び問合せ先

砺波市企画総務部企画調整課 0763-33-1111 内線204
kikaku@city.tonami.lg.jp